

本の森

7月号
July



丹波篠山市立中央図書館通信 No. 211 2023年7月1日 発行

今月の特集

もっと
もっと知りたい

丹波篠山

去る5月22～24日には「全国伝統的建造物群保存地区協議会」の総会・研修会が開催され、約110年ぶりに完全復活した銚が河原町を巡行しました。8月には4年ぶりのデカンショ祭の通常開催など、盛り上がりが続く丹波篠山。これを機に地元の良さを再発見してみませんか？

『丹波人物伝』

氷上育英会 発行 D0/21/夕(郷土)



「明智光秀が攻め込んできた」や「水木しげるが住んでいた」など、偉人とのエピソードにこと欠かない土地、丹波篠山。お国自慢をするときに、ついそれらの名前を出すときはありますが、わざわざよその土地出身の人物の名前を借りなくとも、丹波篠山からはたくさん偉人が出ています。

本書は丹波地域出身の偉人を紹介。丹波篠山市からは出版社の平凡社を創業し、世界平和と教育に貢献した下中弥三郎、生活苦にあえぐ篠山藩の農民のため、藩主に命がけの直訴をした市原清兵衛のほか、明治の自由民権運動家の法貴発、全国を巡って碁盤を作り続け、名人と呼ばれた木戸静斎などが名を連ねています。

派手さに欠けても、常に人に寄り添ったり、美しいものを生み出した方ばかり。もしかしたら、それが“丹波篠山人気質”なのかもしれません。
(西澤)





マークデザイン
加藤昌男

『墨のゆらめき』

三浦しをん 著 新潮社 Fミウ

文学の
棚から

都内の老舗ホテルで働く続力は、招待状の代筆を依頼するため書道教室を営む遠田薫を訪ねる。そこで、遠田が書道教室に通う少年から手紙の代筆を依頼される場面に出会う。遠田は他人の筆跡をほぼ完璧に真似て書くことができるという特技を生かし、依頼者の文字そっくりかじめつに手紙を書き始めるが、文章は壊滅的。そんな遠田の代わりに文章を考え、代筆の手伝いをするようになった続つづき。これをきっかけに二人で様々な代筆を行っていく。ところが、突然遠田が代筆の仕事を辞めると言い出す。そこには遠田の過去が関係していて…。

本書はオーディオブック（音声での読書サービス）のために書き下ろされたという、長編小説です。 （藤澤）



『有機給食スタートブック』

霧理恵子 著 農山漁村文化協会 374.94ユ

近年、子どもたちが食べる給食に、地元でとれた有機野菜や有機米を使う「有機給食」、あるいは「オーガニック給食」と呼ばれる取り組みが全国で広がっています。

本書では、国内10の事例が紹介されており、それぞれの地域で、有機給食の実現に向けた仕組みをどのように構築すれば良いかについても、Q&A形式で記載されています。また、従来の農法との違いに生じる溝について、農家、給食の作り手、それぞれの立場からの現場の生の声を知ることができます。

2019年、全国学校給食甲子園で優勝した丹波篠山市の給食では、米粉パンをはじめ、黒豆、山の芋、野菜やお茶等で早くから地産地消が実践されています。丹波篠山市は今春、農薬や化学肥料を使わない有機農業を推進する「オーガニックビレッジ」を宣言しており、オーガニック給食を身近な話題として考えることができる1冊です。 （栗田）

一般書の
棚から



こんなところに
丹波篠山

『いつも君の味方』

さだまさし 著 講談社 Y2/00/サ



さだまさしが旅や出会った人についてつづったエッセイである同書には、丹波篠山でコンサートを開くことになった顛末が記してあります。

「上高地に行こう」と思った著者はその日の朝、東海道新幹線に乗ってしまい、新大阪駅、ついで大阪駅に到着。次の目的地を決めるために買った時刻表は、一部分が乱丁で袋とじ状態になっており「これこそは神の啓示」と袋とじを開けると、そこに書いてあったのは福知山線。そこで丹波篠山に行先が決まったとのこと。

到着して市内の食堂で食事をした際、ご主人と「支払いは、今度篠山にコンサートに来た時に」という約束を交わし、一年後に実現しました。ちなみにその時のコンサートは「神出鬼没コンサート」と名づけられました。 （西澤）

Y onde Mite

よ ん で み て

『Y onde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお薦めの一冊を掲載します

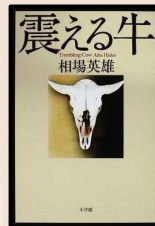
『ポタニカ』
朝井 まかて 著 Fアサ
2022.01 出版



牧野富太郎の伝記的小説。
神戸の京都帝大の学生「池長孟」
という支援者が現れたおかげで
世界の植物学者が誕生したとい
っても過言ではない。

ペンネーム 周五郎ヴァン

『震える牛』
相場 英雄 著 Fアイ
2012.02 出版



窓際刑事が2年前の殺人
事件を地道に調べていくう
ちに、精肉店から台頭した企
業が日本一の大型店になり
地方都市を衰退させていっ
た理由をつかむ。

ペンネーム キャットのの

『にぎやかな天地 上・下』
宮本 輝 著 Fミヤ
2005.09 出版



豪華限定本の編集・政策を手
掛ける主人公は、発酵食品の取
材を進めるうちに微生物の偉大
な営みに魅せられていく。一方
で、祖母が残した言葉の謎や、父
親を殺してしまった男の消息を
知ることとなり・・・。

「毎日を丁寧ていねいに生きたい」と思
うきっかけとなった一冊です。

ペンネーム アリエス

『黄色い家』
川上 未映子 著 Fカワ
2023.02 出版



惣菜店に勤める花は、ニュース
記事で知人・黄美子が若い女性の
監禁・傷害の罪に問われているの
を見る。20年前、花は黄美子と
2人の少女と疑似家族のように
暮らしていた。

格差や貧困など、現代社会の暗
部が赤裸せきら々に描かれた作品です。

ペンネーム Apple

『世界のはての少年』
ジェラルディン マコックラン 著
933.7マ 2019.09 出版



岩だらけの無人島に置き去りに
された12人の少年たち。捕ま
えた海鳥の肉や羽毛だけを頼りに救
助を待ちますが・・・。実話をも
とにしたサバイバル小説です。

ペンネーム 千里隼人

『奇跡のフォント』
高田 裕美 著 007.63 夕
2023.04 出版



読み書き障害でも読みやすい
フォントはどう生まれたのか？
「UDデジタル教科書体」を開
発した書体デザイナーが、その
試行錯誤と工夫を明かす。読み
物としても楽しめる一冊です。

ペンネーム いちご

7月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休	4	5	6	7	8
9	10 休	11	12	13	14	15
16	17 休	18	19	20	21	22
23 30	24 休 31	25	26	27	28	29



LINE はじめました

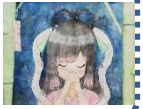
ともだち追加
おねがいします



～ 中央図書館行事 ～

『あなたの願いは 何ですか?』

たなばたかざり 7/1(土)～8/6(日)
設置場所：正面玄関横・レンガ前



【 展示ホール 】

- ★ 「コンパクトカメラ友の会 写真展」
7/1(土)～7/9(日)
- ★ 「祥雲書の会 作品展示」
7/12(火)～7/21(日)
- ★ 「中央図書館 20年のあゆみ」
7/29(土)～8/22(日)

【 視聴覚ホール 】

- ★ 「おはなし会」子どもと本を読む会かたつむり
7/8(土) 13:00～16:00
- ★ 「細見和之氏講演会」図書館友の会
7/15(土) 13:30～15:00
- ★ 「映画上映会」シネマの会
7/19(水) 13:00～16:00
- ★ 「おはなし会」ストーリーテリングの会
7/19(水) 13:00～16:30
- ★ 「図書館開館 20年記念式典」
7/29(土)・7/30(日)



図書館開館 20 周年記念行事

開催

7月29日(土)

【展示ホール】

- ☆記念セレモニー 13:30～
 - ・表彰式 ボランティア団体
 - ・未来郵便発送

【視聴覚ホール】

- ☆特別記念講演会 14:00～
『寂聴先生、ありがとう』
講師：瀬尾 まなほ 氏
(長年にわたり瀬戸内寂聴さんの秘書をつとめられたエッセイスト)

7月30日(日)

☆記念イベント

- ・図書館20年のあゆみパネル展
- ・各種団体による発表会
- ・本の持ち寄り交換会
(1人10冊まで自由に持参、持ち帰りいただけます)
- ・司書によるお話会
- ・その他(図書館探検など)

※内容は変更する場合があります。



フォローして
ください

